

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アテクト

コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小高 得央

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼製造本部長 (氏名) 香川 恵一

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

TEL 072-967-7000

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
25年3月期第2四半期	1,268	△1.1	112	—	81	—	97	—
24年3月期第2四半期	1,282	△23.1	△66	—	△164	—	△314	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 80百万円 (—％) 24年3月期第2四半期 △360百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	29.36	—
24年3月期第2四半期	△94.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
25年3月期第2四半期	3,594	859	23.6
24年3月期	3,687	789	20.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 847百万円 24年3月期 766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当につきましては、現時点においては未定です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,440	△2.2	180	—	120	—	98	—	29.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	3,506,000 株	24年3月期	3,506,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	172,175 株	24年3月期	172,175 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	3,333,825 株	24年3月期2Q	3,333,825 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は、平成24年11月28日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第二四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第二四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の債務危機、米国の財政リスク、新興国の成長率鈍化等を背景に安定を欠いた状況が続いております。

日本においては、企業業績の見直しには明るい兆しもみられる一方で、円高基調の継続等、なお先行きには不透明感が漂っております。

このような事業環境のもと、当社グループは昨年来、構造改革に取組み、事業分野の選別による非重点投資分野からの撤退、半導体資材事業の生産拠点の海外シフトと生産工程の抜本の見直しによる大幅な生産性向上、衛生検査器材事業のマーケティング活動の進化等の経営改善を推し進め、業績の回復を実現いたしました。

具体的には、当社グループの中核事業の一つである半導体資材事業については、市況の回復と生産性向上により大幅な増益となりました。

また、もう一つの中核事業である衛生検査器材事業についても、堅調な展開を見せております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,268百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益112百万円（前年同期は66百万円の営業損失）、経常利益81百万円（前年同期は164百万円の経常損失）、四半期純利益97百万円（前年同期は314百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 半導体資材事業

半導体資材事業につきましては、第1四半期連結会計期間に引き続き、想定を上回る販売数量を達成いたしました。液晶用ドライバ（LSI事業）からの一部の日系顧客の撤退及び生産縮小等の動きがありましたが、事業を継続する海外の顧客企業の生産増加により、当社からの製品出荷数量には影響がありませんでした。

また台湾及び韓国の生産拠点で安定した生産体制が構築できたことが、好業績を支えています。今後とも、海外生産拠点の生産性向上に努力することで、営業利益の更なる増加に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の半導体資材事業の売上高は433百万円（前年同期比3.1%減）となり、営業利益は28百万円（前年同期は48百万円の営業損失）となりました。

② 衛生検査器材事業

衛生検査器材事業につきましては、新規顧客開拓に加え、過去受注実績がありながら、最近の受注が途絶えていた顧客からの受注復活を営業伸長の基本としてテレマーケティングを推進した結果、当第2四半期連結累計期間で466件の新規顧客及び受注復活を獲得いたしました。今後は半導体資材事業について生産性改革を推し進め、更なる収益力の強化を図ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の衛生検査器材事業の売上高は751百万円（前年同期比6.6%増）となり営業利益は80百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

③ PIM（パウダー・インジェクション・モールドィング）事業

PIM事業につきましては、主力製品であるバインダー（射出成形用の助剤）がスマートフォン・タブレット型端末等の外装部品に採用され販売実績が拡大しております。加えて、中国市場における販路開拓が進展しており更なる浸透をはかっております。また、CIM（セラミック・インジェクション・モールドィング）製法で製造したセラミックス製ヒートシンクにおいてセラミックが持つ特徴を最大限に引き出し、機械加工等では不可能な、当社独自の複雑な三次元形状が可能となることから、その技術と性能において高い評価を頂いております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のPIM事業の売上高は15百万円（前年同期比181.0%増）となり営業損失は1百万円（前年同期は54百万円の営業損失）となりました。

PIM事業の当連結会計年度9月度の単月の実績としては1百万円の営業黒字を計上する等、事業の進展に向け、基盤ができつつあると評価しております。

④ その他

その他はプラスチック造形事業とポリマー微粒子事業にて構成しております。

なお、プラスチック造形事業については、平成24年6月29日に同事業の中核であった株式会社ダイブラを売却し、ポリマー微粒子事業については平成24年6月15日にトライアル株式会社が解散することにより、それぞれ撤退しております。

その結果、その他売上高は69百万円（前年同期比46.9%減）となり、営業利益は5百万円（前年同期は38百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ2.5%減の3,594百万円となりました。

これは、「現金及び預金」が410百万円増加する一方、「受取手形及び売掛金」が73百万円、「原材料及び貯蔵品」が71百万円、「機械装置及び運搬具」が54百万円、「土地」が260百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ5.6%減の2,734百万円となりました。

これは、「支払手形及び買掛金」が73百万円、「長期借入金」が122百万円増加する一方、「1年内返済予定の長期借入金」が50百万円、「1年内償還予定の社債」が140百万円、「社債」が159百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ8.9%増の859百万円となりました。

これは、「利益剰余金」が97百万円増加する一方、「為替換算調整勘定」が17百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績及び最近の動向を踏まえ、平成24年5月14日に公表いたしました平成25年3月期通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成24年11月13日）発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(注) 業績予想は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	828,944	1,239,245
受取手形及び売掛金	413,143	339,951
商品及び製品	112,367	96,083
仕掛品	15,978	19,126
原材料及び貯蔵品	149,089	78,030
繰延税金資産	13,103	23,826
未収還付法人税等	10,835	—
その他	15,200	26,046
貸倒引当金	△1,745	△1,443
流動資産合計	1,556,918	1,820,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	589,934	561,832
機械装置及び運搬具（純額）	404,129	349,943
土地	769,974	509,974
建設仮勘定	4,285	1,701
その他	13,007	11,648
有形固定資産合計	1,781,332	1,435,100
無形固定資産		
その他	15,482	13,059
無形固定資産合計	15,482	13,059
投資その他の資産		
投資有価証券	1,840	1,860
繰延税金資産	270,919	268,779
未精算勘定	130,050	130,050
その他	69,025	62,271
貸倒引当金	△138,260	△137,646
投資その他の資産合計	333,575	325,314
固定資産合計	2,130,389	1,773,473
資産合計	3,687,307	3,594,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	206,254	279,460
短期借入金	608,035	619,700
1年内返済予定の長期借入金	481,576	431,402
1年内償還予定の社債	220,000	80,000
リース債務	81,962	101,744
未払金	50,953	50,730
未払法人税等	4,103	13,680
賞与引当金	14,882	37,605
設備関係支払手形	766	2,579
その他	55,675	51,518
流動負債合計	1,724,208	1,668,421
固定負債		
社債	349,389	190,000
長期借入金	609,516	731,942
リース債務	202,991	137,354
繰延税金負債	271	170
その他	11,574	7,096
固定負債合計	1,173,743	1,066,563
負債合計	2,897,952	2,734,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,645	729,645
資本剰余金	649,645	649,645
利益剰余金	△403,172	△305,287
自己株式	△99,429	△99,429
株主資本合計	876,688	974,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330	343
為替換算調整勘定	△110,345	△127,651
その他の包括利益累計額合計	△110,014	△127,307
新株予約権	22,680	12,090
純資産合計	789,354	859,356
負債純資産合計	3,687,307	3,594,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,282,261	1,268,568
売上原価	808,267	702,292
売上総利益	473,994	566,276
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	162,799	110,990
賞与引当金繰入額	—	26,915
その他	378,186	316,106
販売費及び一般管理費合計	540,985	454,012
営業利益又は営業損失(△)	△66,991	112,263
営業外収益		
受取利息	2,236	1,388
受取賃貸料	—	2,904
助成金収入	—	2,493
その他	2,832	3,025
営業外収益合計	5,068	9,811
営業外費用		
支払利息	18,945	17,139
社債利息	3,884	2,465
減価償却費	10,863	5,688
為替差損	65,743	9,734
その他	3,359	5,992
営業外費用合計	102,797	41,021
経常利益又は経常損失(△)	△164,719	81,053
特別利益		
新株予約権戻入益	18,250	11,259
固定資産売却益	—	1,366
関係会社株式売却益	—	9,090
特別利益合計	18,250	21,716
特別損失		
固定資産売却損	—	6,166
固定資産除却損	—	2,622
事業構造改善費用	377,690	—
減損損失	48,049	—
特別損失合計	425,740	8,788
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△572,210	93,981
法人税、住民税及び事業税	1,630	9,077
法人税等調整額	△259,535	△12,980
法人税等合計	△257,905	△3,902
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△314,304	97,884
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△314,304	97,884

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△314,304	97,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	12
繰延ヘッジ損益	△928	—
為替換算調整勘定	△45,435	△17,306
その他の包括利益合計	△46,076	△17,293
四半期包括利益	△360,380	80,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△360,380	80,591
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。